

第94期 事業報告書

2022年4月1日～2023年3月31日

目次

株主の皆様へ	P 1
ダイダンの事業活動	P 3
財務ハイライト	P 6
連結財務諸表	P 7
株式の状況 / 会社の概要	P 9
ダイダンネットワーク	P10



証券コード：1980

株主の皆様へ



代表取締役
会長執行役員

代表取締役
社長執行役員

北野晶平 藤澤一郎

株主の皆様には日頃より格別のご高配
を賜り、ありがたく厚く御礼申しあげます。

さて、第94期(2022年4月1日~2023
年3月31日)における事業の概要について
ご報告申しあげます。

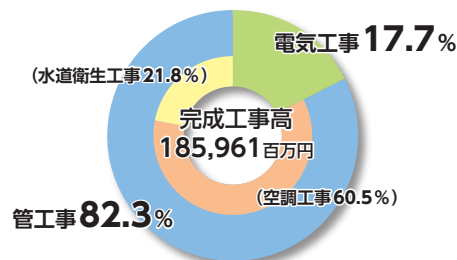
当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響は残りましたが、感染対策と社会活動の両立をはかり、行動制限が緩和されたことで経済活動は正常化が進みました。一方でロシア・ウクライナ情勢の長期化、エネルギー・原材料価格の高騰、為替相場の不安定な動きなど先行きが不透明な状況となりました。

建設業界におきましては、公共投資、民間設備投資ともに堅調に推移しましたが、建設資材価格の高止まりや建設労働者不足の慢性化など課題は多く、収益確保に厳しい状況が続くことが予想されます。

このような情勢の中、当社グループの受注工事高は、前連結会計年度比12.3%増(226億6千9百万円増)の2,063億3千7百万円となりました。

完成工事高につきましては、前連結会計年度比14.1%増(230億3千2百万円増)の1,859億6千1百万円となりました。この結果、次期への繰越工事高は、前連結会計

部門別完成工事高比率



年度比12.4%増(203億7千5百万円増)の1,841億5千8百万円となりました。

利益面につきましては、営業利益は前連結会計年度比11.1%増(8億4千4百万円増)の84億2千8百万円となりました。経常利益は前連結会計年度比14.7%増(11億9千3百万円増)の92億8千8百万円となりました。この結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度比14.7%増(8億4千8百万円増)の66億2千6百万円となりました。

長期ビジョンで示す3つのフェーズの最初にあたる2022年3月期から2024年3月期までの3年間を、中期経営計画「整えるステージ」としてしています。長期ビジョンの3つの基本方針を踏まえ、『基幹事業の拡大』『海外事業の強化』『技術力の強化』『新規事業の開拓』『事業基盤の強化』の5つを事業戦略と位置付け、具体的な施策に落とし

込んで国内外の基盤整備を目指しています。

サステナブルな社会の実現とSDGs達成のためにはESG経営が不可欠となっています。当社は、社会とともに持続的に成長する重要性が増していることを認識しており、事業における社会や環境への影響度を評価した上で、優先的に取り組むマテリアリティ(重要課題)を設定しています。

「ダイダングループサステナビリティ方針」のもと、マテリアリティへの取り組みを進めることで、ステークホルダーの皆さまに提供する価値の最大化を目指します。

株主の皆様には、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

区 分	前期繰越工事高	受注工事高	完成工事高	次期繰越工事高
工事部門	百万円	百万円	百万円	百万円
電 気 工 事	23,462	28,741	32,879	19,324
管 工 事	140,319	177,596	153,082	164,833
空 調 工 事	105,634	133,219	112,452	126,401
水道衛生工事	34,685	44,377	40,630	38,431

ダイダンの事業活動

光と空気と水。そのすべてをトータルにコントロールする統合技術。
優れた技術が響きあい、ひとつに溶けあうことで、より快適な、新しい環境が生まれます。

ELECTRICAL 電気設備

屋内外を美しく彩る光から、
情報設備まで。
最新の管理・制御技術で
建物に命を吹き込む。



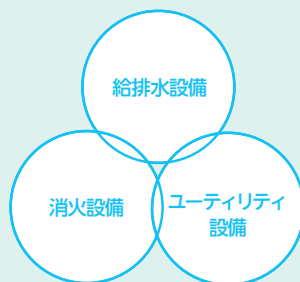
AIR CONDITIONING 空調設備

温度・湿度・風量を最適に保ち、
上質な空気のカオリティを
創出する。



PLUMBING 給排水衛生設備

高質な水を供給しながら、
水のリサイクルも実現する。



第94期の主な施工実績



一正蒲鉾本社第二工場



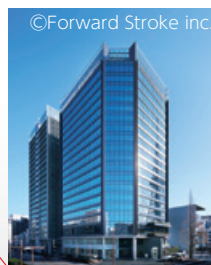
千葉市役所新庁舎



九段会館テラス



イオンネクスト菅田CFC



アーバンネット名古屋ネクスタビル

©Forward Stroke inc.

第94期(2022年度)完成工事

九段会館テラス 空調工事

千葉市役所新庁舎 空調工事

イオンネクスト菅田CFC 空調・水道衛生工事

アーバンネット名古屋ネクスタビル 空調・水道衛生工事

一正蒲鉾本社第二工場 空調・水道衛生工事

第94期(2022年度)受注工事

リゾートワールドセントーサ第2地冷設備 電気・空調・水道衛生工事

淀屋橋駅西地区第一種市街地再開発事業施設 空調工事

コナミクリエイティブフロント東京ベイ 空調工事

東金町一丁目西地区第一種市街地再開発事業 電気工事

岡山市新庁舎整備 空調工事

おかげさまで120周年を迎えました

120th
Anniv.
お客様とともに、これからも



ダイダンは1903年の創業以来、建物の「いのち」づくりに取り組んできました。

「よい設備を届けたい」その思いが、単なる設備工事の枠を超えてきた私たちの原動力です。

「建物」という「空間」に求められる「価値」が大きく変化しているいま、高性能で快適な設備を、より環境にやさしく。

そしてウェルネス向上と脱炭素社会の最適解をさらに超えていく。

目指す未来に向かって、ダイダンは誠実に建物の「いのち」をつくりつづけていきます。



これからのダイダンも、見てほしい。
ダイダンは株式会社ダイダンのグループです。

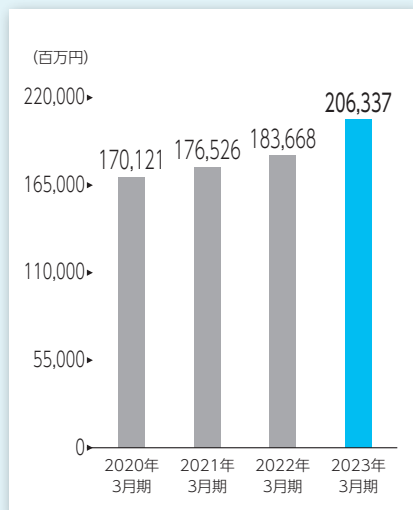
新シンボルマーク



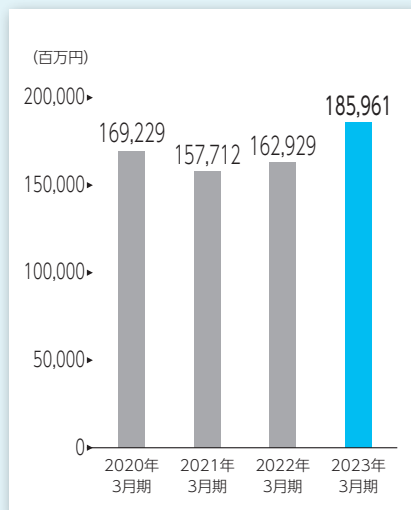
ダイダン(DAI-DAN)の2つのDによるデザインが新たなシンボルマークです。
濃いブルーのD=「伝統」の右上に、薄いブルーのD=「未来」を配置することで、「新たな価値の創造」を目指すダイダンの挑戦の姿勢を表しています。

財務ハイライト (連結)

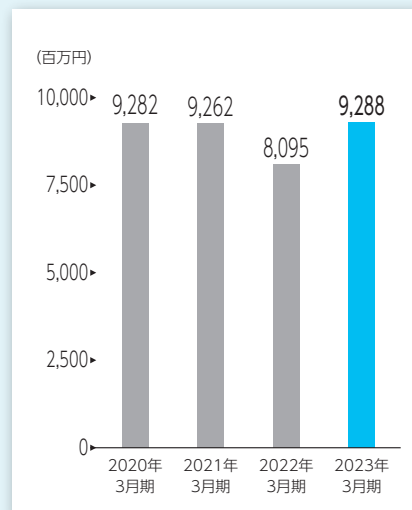
受注工事高



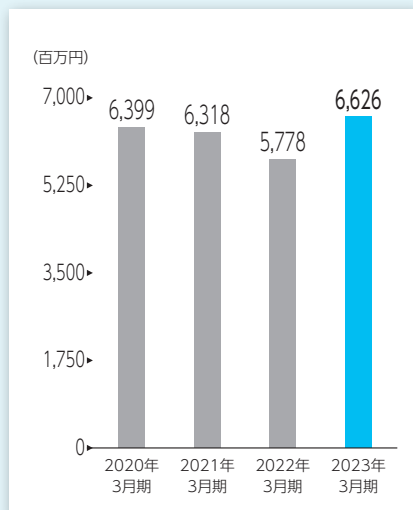
完成工事高



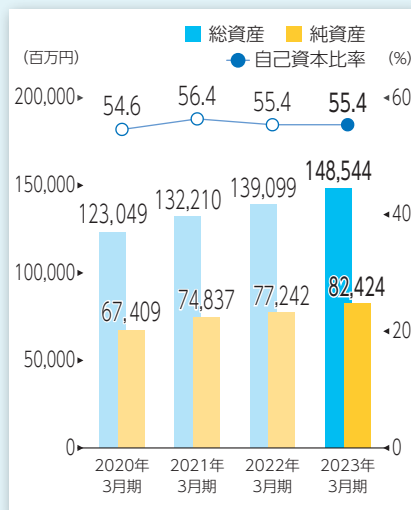
経常利益



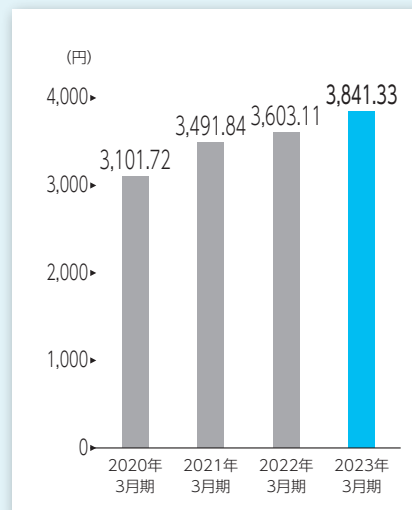
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産・純資産・自己資本比率



1株当たり純資産



連結財務諸表

連結貸借対照表

科 目	(単位：百万円)	
	当連結会計年度末 (2023年3月31日現在)	前連結会計年度末 (2022年3月31日現在)
【資産の部】		
流動資産		
現金及び預金	25,379	16,065
受取手形・完成工事未収入金等	69,625	68,903
電子記録債権	9,487	15,002
未成工事支出金	671	464
その他	3,092	4,416
貸倒引当金	△ 136	△ 6
流動資産合計	108,120	104,846
固定資産		
有形固定資産	7,516	5,893
無形固定資産	1,178	409
投資その他の資産		
投資有価証券	18,790	15,837
退職給付に係る資産	11,459	10,628
その他	1,611	1,622
貸倒引当金	△ 133	△ 138
投資その他の資産合計	31,728	27,949
固定資産合計	40,424	34,253
資産合計	148,544	139,099

科 目	(単位：百万円)	
	当連結会計年度末 (2023年3月31日現在)	前連結会計年度末 (2022年3月31日現在)
【負債の部】		
流動負債		
支払手形・工事未払金	23,294	24,025
電子記録債務	12,109	12,047
短期借入金	2,901	3,229
未払法人税等	2,258	701
未成工事受入金	1,899	2,058
株式給付引当金	26	26
完成工事補償引当金	48	70
工事損失引当金	516	615
預り金	9,307	8,703
その他	9,169	6,004
流動負債合計	61,532	57,483
固定負債		
長期借入金	720	675
繰延税金負債	2,660	2,419
退職給付に係る負債	1,148	1,251
長期末払金	5	5
その他	51	22
固定負債合計	4,587	4,374
負債合計	66,119	61,857
【純資産の部】		
株主資本		
資本金	4,479	4,479
資本剰余金	4,837	4,837
利益剰余金	68,638	63,946
自己株式	△ 3,132	△ 3,166
株主資本合計	74,822	70,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,116	6,079
為替換算調整勘定	112	34
退職給付に係る調整累計額	1,191	870
その他の包括利益累計額合計	7,419	6,984
非支配株主持分	182	160
純資産合計	82,424	77,242
負債・純資産合計	148,544	139,099

POINT

連結貸借対照表

流動資産は、前連結会計年度末比3,273百万円増(3.1%)の108,120百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加9,314百万円(58.0%)によるものです。固定資産は、前連結会計年度末比6,170百万円増(18.0%)の40,424百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の増加2,953百万円(18.6%)及び有形固定資産の増加1,623百万円(27.5%)によるものです。

流動負債は、前連結会計年度末比4,049百万円増(7.0%)の61,532百万円となり

ました。主な要因は、その他の流動負債の増加3,165百万円(52.7%)によるものです。固定負債は前連結会計年度末比212百万円増(4.9%)の4,587百万円となりました。

主な要因は、退職給付に係る負債の減少102百万円(△8.2%)によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末比5,182百万円増(6.7%)の82,424百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加4,691百万円(7.3%)等によるものです。

この結果、自己資本比率は55.4%(前連結会計年度末は55.4%)となりました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 2022年4月 1日から 2023年3月31日まで	前連結会計年度 2021年4月 1日から 2022年3月31日まで
完成工事高	185,961	162,929
完成工事原価	163,337	142,206
完成工事総利益	22,624	20,723
販売費及び一般管理費	14,195	13,138
営業利益	8,428	7,584
営業外収益		
受取利息	12	12
受取配当金	432	360
不動産賃貸料	32	34
受取保険料	128	122
為替差益	327	135
その他	43	15
営業外収益合計	976	680
営業外費用		
支払利息	70	98
支払保証料	8	6
不動産賃貸費用	9	9
アレンジメントフィー	—	35
コミットメントフィー	19	5
その他	8	15
営業外費用合計	117	170
経常利益	9,288	8,095
特別利益		
固定資産売却益	3	—
投資有価証券売却益	551	364
貸倒引当金戻入額	4	—
特別利益合計	559	364
特別損失		
固定資産除却損	16	142
投資有価証券評価損	—	4
特別損失合計	16	146
税金等調整前当期純利益	9,830	8,312
法人税、住民税及び事業税	3,116	2,009
法人税等調整額	82	563
法人税等合計	3,199	2,572
当期純利益	6,631	5,739
非支配株主に帰属する当期純損益	4	△ 38
親会社株主に帰属する当期純利益	6,626	5,778

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 2022年4月 1日から 2023年3月31日まで	前連結会計年度 2021年4月 1日から 2022年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,941	△ 11,718
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,729	△ 873
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,218	△ 3,214
現金及び現金同等物に係る換算差額	317	97
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,310	△ 15,710
現金及び現金同等物の期首残高	16,037	31,747
現金及び現金同等物の期末残高	25,348	16,037

POINT 連結損益計算書

完成工事高は、前連結会計年度比23,032百万円増(14.1%)の185,961百万円となりました。
完成工事総利益は、前連結会計年度比1,900百万円増(9.2%)の22,624百万円となりました。
営業利益は、完成工事総利益の増加により、前連結会計年度比844百万円増(11.1%)の8,428百万円となりました。
経常利益は、営業利益の増加により前連結会計年度比1,193百万円増(14.7%)の9,288百万円となりました。
親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益として投資有価証券売却益551百万円等、特別損失として固定資産除却損16百万円を計上し、法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額及び非支配株主に帰属する当期純利益を加減した結果、前連結会計年度比848百万円増(14.7%)の6,626百万円となりました。

POINT 連結キャッシュ・フロー計算書

現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末比9,310百万円増(58.1%)の25,348百万円となりました。
(営業活動によるキャッシュ・フロー)
営業活動の結果、増加した資金は15,941百万円(前連結会計年度は11,718百万円の資金の減少)となりました。主な要因は、売上債権の減少によるものです。
(投資活動によるキャッシュ・フロー)
投資活動の結果、減少した資金は4,729百万円(前連結会計年度は873百万円の資金の減少)となりました。主な要因は、関係会社株式の取得による支出によるものです。
(財務活動によるキャッシュ・フロー)
財務活動の結果、減少した資金は2,218百万円(前連結会計年度は3,214百万円の資金の減少)となりました。主な要因は、配当金の支払によるものです。

株式の状況／会社の概要 (2023年3月31日現在)

発行株式数及び株主数

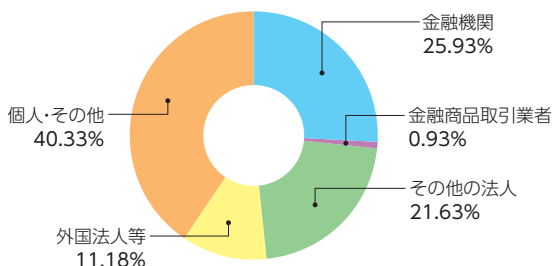
- 発行可能株式総数 40,000,000株
- 発行済株式の総数 22,981,901株
- 株主数 4,942名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,667	7.75
東京大元持株会	1,138	5.29
株式会社三菱UFJ銀行	973	4.52
大阪大元持株会	781	3.63
ダイダン従業員持株会	770	3.58
有楽橋ビル株式会社	738	3.43
名古屋大元持株会	594	2.76
三信株式会社	559	2.60
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	518	2.41
株式会社みずほ銀行	479	2.23

(注) 1.当社は自己株式1,481,860株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2.持株比率は、自己株式1,481,860株を控除して計算しております。

所有者別分布



会社概要

社名	ダイダン株式会社
英文社名	DAI-DAN CO., LTD.
創業	1903年3月4日
設立	1933年10月10日
所在地	<本店・大阪本社>大阪市西区江戸堀1丁目9番25号 <東京本社>東京都千代田区富士見2丁目15番10号
資本金	4,479,725,988円
事業内容	電気工事、空調工事、水道衛生工事の設計、 監理、施工ならびにこれらに関連する事業
従業員数	1,830名(個別：1,645名)

役員一覧 (2023年6月29日現在)

代表取締役会長執行役員	北野晶平
代表取締役社長執行役員	藤澤一郎
取締役専務執行役員	山中康宏
取締役常務執行役員	笹木寿男
取締役執行役員	亀井保男
取締役	佐原文雄
取締役	松藤郁美
取締役	小酒井健吉
監査役	滝谷政春
監査役	大崎秀史
監査役	坪田具也
監査役	久徳博文
常務執行役員	北村広外
常務執行役員	道端順志
常務執行役員	高比良満
フェリックス執行役員	吉田一隆
上席執行役員	池田隆之
上席執行役員	力石和彦
上席執行役員	清水登功
上席執行役員	佐々木洋二
上席執行役員	畑中勝美
上席執行役員	森田明博
上席執行役員	麻生博
執行役員	檀原穂和
執行役員	中村真博
執行役員	天野康博
執行役員	伊藤修一
執行役員	平間浩
執行役員	佐々木昌宏
執行役員	柏木幸司
執行役員	柏木春彦
執行役員	大井手太
執行役員	内藤太健
執行役員	立石賢太

(注) 1.取締役のうち松原文雄氏、佐藤郁美氏及び小酒井健吉氏は、社外取締役であります。
2.監査役のうち滝谷政春氏、久徳博文氏は、社外監査役であります。

ダイダンネットワーク (2023年4月1日現在)



- 32 大阪本社
- 33 奈良支店
- 34 神戸支店
- 35 京都支店
- 36 和歌山営業所
- 37 滋賀営業所

- 38 中国支店
- 39 岡山支店
- 40 山口営業所
- 41 山陰営業所

- 42 四国支店
- 43 松山営業所
- 44 高知営業所
- 45 徳島営業所

- 46 九州支社
- 47 熊本支店
- 48 宮田営業所
- 49 佐賀営業所
- 50 長崎営業所
- 51 大分営業所
- 52 宮崎営業所
- 53 鹿児島営業所
- 54 沖縄営業所

- 11 技術研究所

- 14 東京本社
- 15 関東支店
- 16 横浜支店
- 17 千葉支店
- 18 群馬営業所
- 19 栃木営業所
- 20 茨城営業所
- 21 長野営業所
- 22 松本営業所

- 29 北陸支店
- 30 富山営業所
- 31 福井営業所

- 23 名古屋支社
- 24 豊田支店
- 25 三河営業所
- 26 静岡営業所
- 27 三重営業所
- 28 岐阜営業所

- 55 シンガポール支店

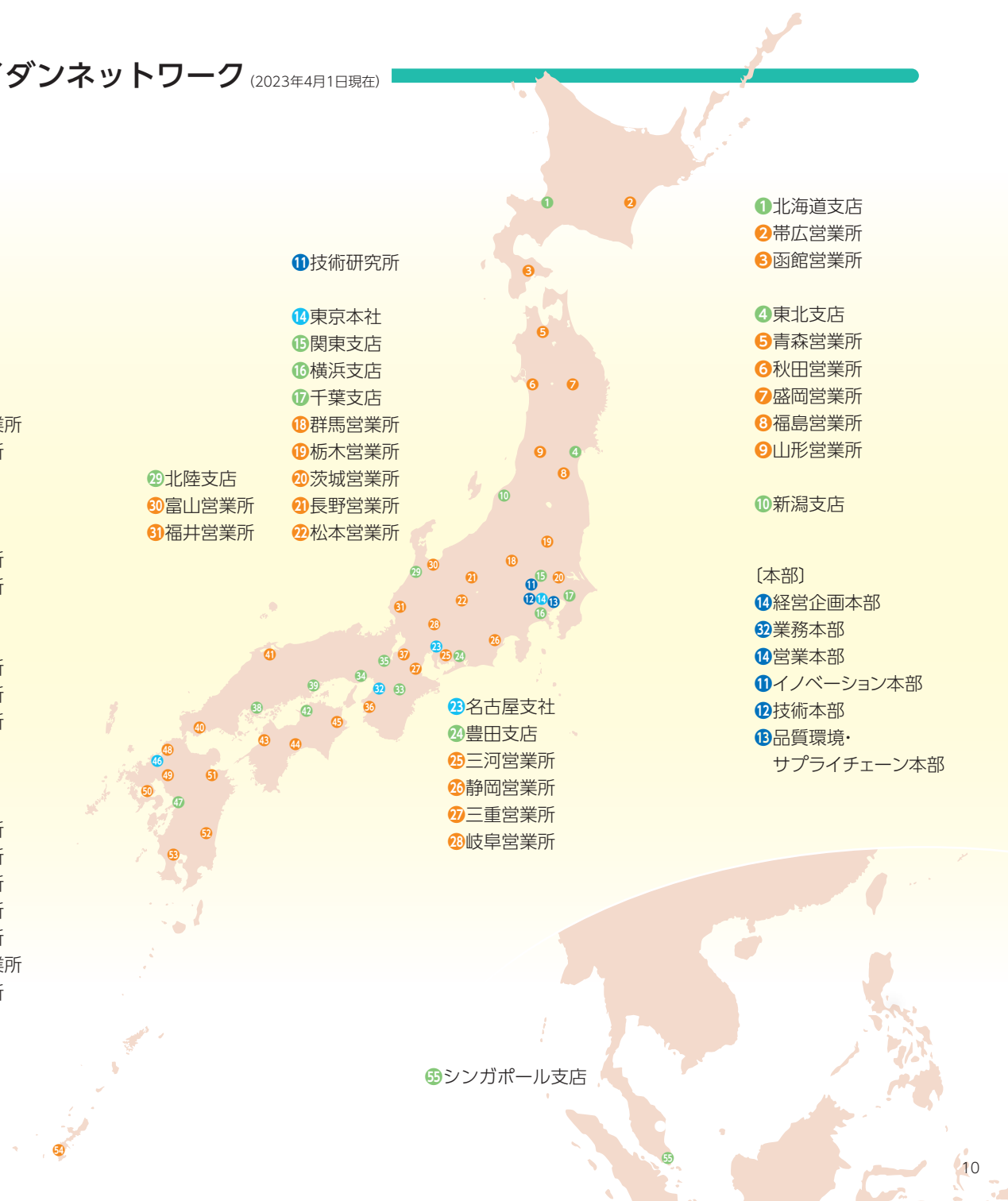
- 1 北海道支店
- 2 帯広営業所
- 3 函館営業所

- 4 東北支店
- 5 青森営業所
- 6 秋田営業所
- 7 盛岡営業所
- 8 福島営業所
- 9 山形営業所

- 10 新潟支店

[本部]

- 14 経営企画本部
- 32 業務本部
- 14 営業本部
- 11 イノベーション本部
- 12 技術本部
- 13 品質環境・サプライチェーン本部



ホームページのご案内

当社のホームページでは、IR情報をはじめとして当社の各種情報を公開しておりますのでご覧ください。



<https://www.daidan.co.jp/>

「ダイダンレポート2022」を発行



当社の事業活動やCSR活動に加え、財務・非財務データを盛り込んだ統合的な企業レポート「ダイダンレポート」は、下記のホームページリンクよりダウンロードが可能です。

ダイダンレポート2022

<https://www.daidan.co.jp/sustainability/report/>

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
1単元の株式の数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告により行います。 当社ホームページに掲載いたします。 (https://www.daidan.co.jp/finance/koukoku/)
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場

UD
FONT



〒550-8520
大阪市西区江戸堀1丁目9番25号
電話 (06) 6447-8000